



地域・社会との
共生

環境活動や次世代育成支援活動、各地域の課題解決活動に重点的に取り組めます

『九電みらい財団』を2016年5月に設立。

九州電力の思い「ずっと先まで、明るくしたい。」を
実現していくため、環境活動・次世代育成支援活動を
積極的に行っています。

「九電みらい財団」の
ホームページはこちら ▶



2017年度には、活動が評価され、2つの賞を受賞しました。[裏面下段参照]

■ 環境活動

[環境保全]

大分県竹田市の坊ガツル湿原一帯の自然環境を守り続けるため、野焼きや外来植物駆除、ミヤマキリシマ(希少植物)の植生保護などの活動を地域の方々と協働で行っています。

2016年度：活動5回、約600名参加



坊ガツル湿原/野焼き活動(8~3月)



平治岳/植生保護活動(5月、10月)



平治岳に咲くミヤマキリシマと坊ガツル湿原(6月)

[環境教育]

大分県由布市にある社有林「くじゅう九電の森」で、小中学生を対象に、森の役割を学ぶ講座や、林業体験、森林観察などを行っています。

2016年度：活動19回、約700名参加



林業体験



森林観察

■ 次世代育成支援活動

子どもたちの健やかな成長を応援するため、NPOなどの団体が行う次世代育成支援活動への助成を行っています。

2016年度：20団体に助成

助成団体の活動紹介(きんしゃいきゃんぱす)

「きんしゃいきゃんぱす」は、2004年から福岡市東区の箱崎商店街の空き店舗を活用し、子どもの遊び場を運営している団体です。九州大学などの大学生や、OB・OGを中心として運営し、平日の放課後はほぼ毎日開放。子どもの「やってみよう」という気持ちを大切に、子どもが主体となって自由に遊べる場を提供しており、子ども同士や、子どもと地域の大人との交流の場となっています。年に数回、地域の子ども会とイベントを共催するなど、地域からの期待や信頼も厚い活動です。



?

この他にどのような取り組みを行っているの？

詳しくはウラ面へ

九州各地の森で 「Play Forest」を行っています

子どもたちの環境を大切にすることを育むため、森で「学ぶ」「守る」「楽しむ」イベント「Play Forest」を2016年度から行っています。

環境団体や企業の皆さまとともに、子どもたちがワクワクするプログラムを用意し、森の中で楽しみながら、自然の大切さを学んでもらっています。

2017年度は、より多くの子どもの参加してもらえるよう、回数を増やして開催しています。今後も、ホームページでご案内しますので、ぜひご参加ください。

2016年度：8回開催、約4,300名参加



ロープで木に登る「ツリーイング」



「Play Forest」の
ホームページはこちら

Play Forest



森の役割を学ぶ「土壌透水実験」



森の中で自由に遊べる「プレイパーク」

九州各地で、地域の皆さまと一緒に ボランティア活動を行っています

NPOや地域の皆さまと協力して取り組むボランティア活動「こらぼらQでん」を行っています。

2017年10月、佐賀営業所・配電事業所で、高所作業車などを活用し、国の重要文化財である佐賀城鯨(しゃち)の門周辺の除草活動を行いました。

また、同月、大分支社で、海ガメの産卵が見られる大分県佐伯市の間越(はざこ)海岸一帯の清掃を行うとともに、子どもたちに環境について考えてもらうため、環境教育や海ガメの甲羅洗い体験などを行いました。

今後も、地域が抱える課題の解決に、地域の皆さまと一緒に取り組んでいきます。

2016年度：30回開催、約2,100名参加



佐賀城 城壁の除草活動



海ガメの甲羅洗い体験



「九電みらい財団」の活動が2つの賞を受賞

「九電みらい財団」の活動が評価され、2つの賞を受賞しました。

(環境保全活動)

2017年12月、地域の方々と協働で取り組んでいる「くじゅう坊ガツル湿原一帯における野焼き等の環境保全活動」が、「第6回いきものにぎわい企業活動コンテスト※」において、「公益財団法人水と緑の惑星保全機構会長賞」を受賞

※ 主催:いきものにぎわい企業活動コンテスト実行委員会
後援:環境省、農林水産省、経団連自然保護協議会

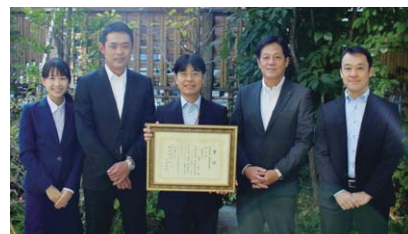
(環境教育活動)

2017年10月、「くじゅう九電の森」での環境教育の取組みが、「Forest Good 2017～問伐・問伐材利用コンクール～※」において、問伐実践・環境教育部門の「特別賞」を受賞

※ 主催:問伐・問伐材利用推進ネットワーク
後援:林野庁、問伐中央促進協議会



くじゅう坊ガツル湿原一帯での環境保全活動



問伐実践・環境教育部門「特別賞」受賞